

**関西電力の原発マネーの還流問題については、多くの市民が不信感をもっています。
関西電力の原発稼働許可の取り消しを要請します**

7月26日に交渉した際の回答に対しての質問や新たな要請、質問項目を記載しました。
よろしく願いいたします。

[要 請]

- 1、老朽原発の安全性について、通常原発の新規制基準の審査期間より短く、また原子炉への長期間の中性子照射による脆性の検査体制が確立していない段階で、廃炉期限間際に拙速に稼働を許可しましたが、即刻、老朽原発の稼働許可を取り消すべきです。
- 2、「特に、老朽原発は通常原発よりあらゆる面でリスクがあることから、テロ対策施設完成の5年猶予や、来年4月からの定期点検までの期間を増やすことや、定期点検の短縮危険な定期点検体制を取る事は絶対にやめてください。」の要請文について、
「定期点検は事業所が必要なことをしていたらよい。我々は判断しない。」との回答でしたが、関電のようないいかげんな電力会社にまかせるのは市民としてとても納得いかないの、電力会社まかせではなく、規制庁でもさらに厳しく監督をするように要望します。
- 3、「金属製の乾式キャスク保管では、エポキシ樹脂が熱による劣化が懸念される。またキャスクに異常事態が起きた際、修復するために燃料プールが必要だが、廃炉に伴い燃料プールもすでになくなっている所以对応できず危険である。乾式キャスク保管を容認しないでください。」の要請文に対し、
「確かにエポキシ樹脂は熱に弱く中性子の吸収は弱いので放射能の閉じ込めなど安全にできるかなどいま研究・確認をしている。」との回答でしたが、どれくらいかかるのかのめどをおしえてください。
四電が乾式キャスク施設を2023年にはつくと宣伝しているが、それはそれまでに規制委員会が結論を出すという事を前提としているのではないか。見識を教えてください。
- 4、原発マネーが大問題になっているが、関電に対し、原発の安全対策費用が正しくつかわれているか、すべて規制委員会は把握をしてください。
情報開示させ、不透明であるなら、解明されるまで原発を止めることを規制庁からも指示してください。
- 5、上記につき、ほかの電力会社ではどうなっているか、徹底究明を電力会社に要求してください。
- 6、自然災害が脅威を増しています。豪雨・洪水・地震などの自然災害の専門家を規制委員会に入れてください。
規制基準を新たに設けることを要求します。同時にその基準が適合するまで、原発の稼働はさせないでください。